学校番号	111

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂイ	単位数	4(2)単位	年次	３年次
使用教科書	小風秀雅他（著者）「新選　日本史B」　（東京書籍）						
副教材等	星沢卓也（発行者）「日本史のアーカイブ」　（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ➢ 原始から中世（鎌倉時代終り）までの時代を学びます。
- ➢ 歴史という時間軸を感じるため、歴史の流れや時代背景を意識した授業を行います。
- ➢ 歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付こう。
- ➢ 日本史を多面的・多角的に理解するために、世界史・地理との関連を重視します。
- ➢ 生徒の視点での素朴な疑問や生活感覚に即した疑問に主体的に取り組んでいきます。

２　学習の到達目標

- ➢ 現代の社会やその諸課題は、地理的歴史的に形成されたものであることを理解し、歴史的思考力を身につける。
- ➢ これからの国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。
- ➢ 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史を学ぶ意義に気付き、日本の歴史全体に対して関心をもって意欲的に追及し、今後の国際社会や日本社会を形成していく自覚をもって考える態度を身につけているか。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史全体に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択でき、歴史を探究する学び方を身につけている。	日本の歴史全体についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史との関連付けを一層重視して理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート チェックテスト	定期考査 ワークシート チェックテスト	定期考査 ワークシート チェックテスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	古代国家の形成と貴族文化の誕生	・原始社会の生活と文化 ・農耕社会の形成と大陸文化の摂取	○	○	○	○	a: 更新世から古墳時代までの日本の歴史の歩みと、日本の自然環境や大陸文化の伝播にも着目して関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:原始社会や古代国家の成立や変質、各々の時代の社会や文化の特色について東アジア世界からもたらされた文物・諸制度が、その地理的条件も重なって我が国の国家や文化の形成に大きな影響を及ぼしたことを考察・表現できている。 c: 必要な諸資料を収集、分析し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:原始時代の特色、日本文化の黎明と大和王権や古墳文化の特徴をよく理解して、その知識を身につけている。	定期考査 チェックテスト ワークシート

2学期		・律令国家の形成と古代文化の展開 ・摂関政治と文化の和様化	○	○	○	○	a:東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景および中世社会の萌芽に関心をもつ。 b: 旧石器、縄文、弥生文化を経て、我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐などの東アジアの世界との関係や古墳文化、天平文化に着目し、古代国家の形成と見解を着目し、その過程や結果を適切に考察・表現している。 c: 必要な諸資料を収集、分析し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:古代の貴族社会の政治や文化の特色について、国際環境と関連付けて理解している。	定期考査 チェックテスト ワークシート
3学期	武家社会の形成と生活文化のめばえ	・中世社会の成立	○	○		○	a:古代律令体制が変貌し、中世的な国家体制となった背景にある荘園制、宗教勢力の拡大、武家・公家・寺社などが権力を分有する多様性などに関心をもつことができる。 b:武士の土地支配と公武関係、宋や元との関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察できている。 c: 必要な諸資料を収集、分析し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中世社会の政治や文化の特色について、国際環境や地理的事項と関連付けて多面的・多角的に理解している。	定期考査 チェックテスト ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。